

『2022 やまぐち発明くふう展』 受賞者および作品紹介

10月14日(金)～16日(日)に山口県児童センターで開催された『2022 やまぐち発明くふう展』において、次の田布施町少年少女発明クラブ員が受賞しました。おめでとうございます。

その受賞作品を紹介します。(名前の敬称略)

◇問合せ先 社会教育課

☎ 52-5813



◇優秀賞 『かんたん袋オープナー』 中谷陽菜多(東田布施小4年)



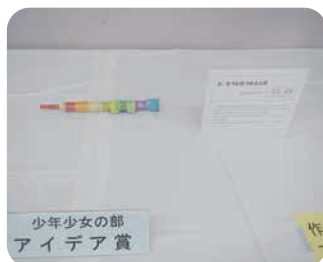
小さい子どもやお年寄りの人が、楽におかし袋を開けることができる道具です。仕組みはクランクという物で袋の両端をつかみ、レバーで引っ張るとすぐに袋を開けることができます。また、袋を持たずにお菓子を食べられます。

◇アイデア賞 『こたろうのエサやりき(おて練習用)』 小川遼真(田布施西小5年)

ペットの犬(こたろう)のおて練習機です。まず、ペットボトルのふたを開けてエサを入れておきます。そして、足のマークがついている所を犬が押すとエサが出てきます。それを繰り返すことで、犬はおてを覚えていきます。



◇アイデア賞 『そうじきつきえん筆』 松村花凜(麻郷小3年)



消しゴムのかすを吸うことができるえん筆です。スイッチを入れると中のファンが回り、消しゴムのかすを吸い取ります。筆箱にも入り、持ち運びも便利です。机をいつもきれいに使うことができます。

◇奨励賞 『リサイクルえんぴつ』 杉谷遼人(田布施西小6年)

折れたえんぴつの芯をもう一度使えるようにする道具です。この道具の先に、小さな穴があり、そこに折れた芯をはめると、もう一度書けるようになります。折れた芯を再利用できる便利な道具です。



◇奨励賞 『イノシシハンター』 藤本悠馬(麻郷小6年)



イノシシの形をしたボードに玉(卓球ボール)をゴムの力で飛ばして当てるゲームで、イノシシの体には切込みが入っており、点数が付けてあります。お互いに獲得点数を競うゲームです。